

令和3年2月4日

仙台市長 郡 和子 様

特定非営利活動法人禁煙みやぎ
理事長 山本 蒔子

勾当台公園に設置されている3個の灰皿の撤去のお願い

厳寒の候 郡様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、ご多忙の事と推察致します。日頃私たちの禁煙推進活動に対しご理解とご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月頃から、勾当台公園の野外音楽堂の裏あたりに、昼休みの時間になると喫煙者が大勢現れ、喫煙している姿が目立つようになりました。そこには仙台市が設置された灰皿があります。他にも2か所灰皿がありますが、いずれもその近くで、喫煙している人たちが目立つ状態です。

資料のように私達は12月7日に現地を巡視し、タバコ煙の濃度をポケットPM2.5センサーにて測定いたしました。環境省が定めたきれいな空気の基準は35ppmですが、グラフのように、喫煙者の集まっている灰皿のある3か所では、その基準をはるかに超えて、最大は130.5ppmに及んでいます。

本来公園は市民の憩いの場であり、子ども達の遊ぶ場所でもあります。しかし、このような状況では、灰皿のある場所に近づくことによって受動喫煙の被害を受けている状態です。風向きによっては、タバコ煙は通路側にまで漂い、通行者にも受動喫煙が起こっています。また、野外音楽堂の近くにある売店で働く人は常にタバコ煙に暴露されています。さらに、灰皿は定期的に清掃が行われていますが、その清掃に携わる方たちは三次受動喫煙（残留タバコ煙）に常にさらされています。

このように、多くの市民が知らず知らずの間に、望まない受動喫煙に暴露されているような状況は解消しなければならないと考えます。郡様は以前に、灰皿を置いているのは、吸殻が散らばらないようにするためとご発言されておられます。しかし、灰皿があれば、そこはタバコを吸っていい場所と解釈されて、必ず、喫煙する人たちが集まります。タバコを吸える場所をなくすることこそ禁煙推進に繋がります。

市民の健康を守るために勾当台公園に設置されている3つの灰皿の早急な撤去をお願い申し上げます。